

第48号



# 市連だより

尾道市PTA連合会

令和2年3月発行

【事務局】 〒722-0043

広島県尾道市東久保町20番14号

おのみち生涯学習センター内

TEL (0848) 37-7353

FAX (0848) 37-7354

E-mail:jimukyoku@onomichi-pta.net

卒業生の皆さんへ



尾道市PTA連合会  
会長 明上浩之

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今の気持ちいかがですか。沢山の友達や先生に出会い、色々な事を学んだ思い出深い校舎とも今日でお別れです。ここまで育ててくださいが、忘れず、これからも頑張つてください。そして卒業式という「けじめ」をしっかりとつけて、次なるステップへ進んでください。

少し横へそれますが、私の好きな歌詞をご紹介します。木漏れ日のようなぬくもりで、深い海のような優しさで、全部全部、私の全てを包み込んだアナタの背中に負われながら眺めた八重瀬岳（やえせたけ）の夕陽は、今日も変わらず茜色に町を染める。度が過ぎるほどのがたナタのもとに生まれ落ちたことは、こんなにも幸せだった。これは「かりゆし五八」という沖縄出身のグループの歌で、意味）の歌の一部です。この歌詞の通り、お父さん、

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今の気持ちいかがですか。沢山の友達や先生に出会い、色々な事を学んだ思い出深い校舎とも今日でお別れです。ここまで育ててくださいが、忘れず、これからも頑張つてください。そして卒業式といふ「けじめ」をしっかりとつけて、次なるステップへ進んでください。



尾道市教育委員会  
教育長 佐藤昌弘

## 卒業生に贈ることば

最後になりましたが、未来ある卒業生の皆さん今后益々のご活躍をお祈りして、贈る言葉とさせていただきます。

ご卒業おめでとうございました。最後になりましたが、未来ある卒業生の皆さん今后益々のご活躍をお祈りして贈る言葉とさせていただきます。

ご卒業おめでとうございました。最後になりましたが、未来ある卒業生の皆さん今后益々のご活躍をお祈りして贈る言葉とさせていただきます。

ご卒業おめでとうございました。最後になりましたが、未来ある卒業生の皆さん今后益々のご活躍をお祈りして贈る言葉とさせていただきます。

お母さんのおかげで今ここに自分がいることが、こんなにも幸せだったと気づくという歌詞です。そして、どんなことがあっても、お父さん、お母さんは皆さんを信じ、後押ししてくれる存在である事がうかがえます。これからもご両親に感謝して立派な大人になつてください。遅くなりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございました。心よりお喜び申し上げます。ここまで道のりは決して楽なものではなかつたのではないかと思いますが、皆様の後姿を見て育つた子ども達は立派な尾道っ子になつてくれるものと思います。そして、尾道市PTA連合会の活動にもご理解とご協力を賜りましたことにあらためて感謝し、心より御札を申し上げます。ありがとうございます。

また、こうして無事卒業の日を迎えたのは、皆さんのことをお迎えられたのは、皆さんのこといろいろな面でいつも見守り、皆さんことを大切に思つてくれている人、家族や先生方、友達、たくさん地域の方々の支えがあつたことも忘れないでください。

近年、国内では毎年のように台風や豪雨などの大規模な自然災害が起こっています。尊い人命が失われたほか、住宅に受けた被害により、未だ自由な生活を強いられている方もおられます。

こうした災害によって改めて見直されたのが、地域での人と

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業、本当に

ナタのもとに生まれ落ちたことは、こんなにも幸せだった。これは「かりゆし五八」という沖縄出身のグループの歌で意味）の歌の一部です。この歌詞の通り、お父さん、

卒業生の皆さんには、ご家族や友人はもちろんのこと、これから的人生で出会う全ての人とのつながりを大事にし、また、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに次のステージへと歩んで欲しいと思います。

温かみのある故郷尾道で生まれ育ち学んだことに誇りを持ちながら、これから新しい未来に向かってまっすぐに前を向いて歩み出してくれることを心から

までとうございます。

また、今まで卒業生を熱心に指導してこられた先生方、学習支援や登下校の見守り等で卒業生を支えてくださった地域の方々に心から敬意と感謝の意を表します。

尾道市で2度の合宿を行った学校での生活を振り返ると、いろいろ思い出がよみがえつてきます。世界最高の舞台に立つ方々に心から敬意と感謝の意を表します。

メキシコ女子ソフトボールチームも、昨年、アメリカ大陸予選を勝ち抜き、初めてのオリンピック出場権を得ました。オリンピック・パラリンピックへの出場が決定した選手たちは、次の目標であるメダル獲得を目指して、一日一日を大切に過ごしていることだと思います。

皆さんも、自分自身の可能性を信じて、夢を持ち、志高く、未来に向かつてたゆまぬ努力をしてください。たとえ自分の思いどおりの結果にならなくても、精一杯チャレンジし、努力したことは、新たな道を進むための大きな力となってくれるでしょう。

卒業生の皆さんには、ご家族や友人はもちろんのこと、これから的人生で出会う全ての人とのつながりを大事にし、また、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに次のステージへと歩んで欲しいと思います。

さて、今年は、7月から9月にかけて東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。世界最高の舞台に立つという夢を叶えた選手が活躍する姿は、私たちをワクワクさせ、勇気をくれます。

今までとうございます。

# 市P連親睦

第18回

# ソフトバレーボール大会

大会運営をする事によつて、私達の親睦がさらに深まつたと感じています。大会に携わつて頂いたすべての皆様に感謝致します。



月日が経つに連れ、色々なアイデアが出て来て、その都度皆で擦り合わせていました。密かに私の中では勝手なテーマがありまして、それは「段取り8割」でした。

私達は大会当日に必要な事を「8割」終わらせました。残りは「2割」。少人数ながらも皆で大会運営をやり切りました。それでもご迷惑をお掛けした事もあつたと思います。

大会後のアンケートで、皆さんから

一番多かつたご意見は「閉会式が長過ぎる！」でした。そこは私達の見せ場でもありましたので、ご容赦頂けたらと思っていました。この件も含め、今後の反省材料として引き継いで行きたいと思つています。



私達、浦崎・百島中学校ブロックのテーマは【和】。新時代最初の記念大会となり、「大成功させたい」という意気込みで、朝のミーティング時に皆で声を出して一致団結した事が、大会運営の始まりと/or>一番良かったと感じています。

大会は選手宣誓の「WA！」で始まり、各コートで熱戦が繰り広げられ、最後の試合まで一進一退を繰り返す試合が行われました。閉会式も和やかな雰囲気で、無事大会を終了する事が出来たと思っています。

大会運営を準備する事になり、本格的に始動したのが5月、火が付いたのが7月、覚悟を決めたのが9月でした。



## 日本PTA全国研究大会 兵庫大会

去る、令和元年8月23日～24日に、第67回日本PTA全国研究大会兵庫大会へ尾道市PTA連合会から3名参加してきました。

初日は9分科会に分かれ、各実践発表や研究課題について聴講しました。

私たちは第一分科会で「家庭教育」について聴講しました。その中でも特に記憶に残ったのは急激に変化し続ける現代社会において、家庭が行う保護者の役割、家庭教育の重要性についてでした。

近年、「家庭の教育力」の低下が言われるなか、改めて家庭教育の重要性を再認識しました。

家庭は子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育はすべての教育の出発点となります。私たち保護者自身が自尊心を高め、子供の教育に対する責任を自覚しなければならないと感じました。

初日の夜には広島県PTA連合会主催の懇親会で各単Pとの意見交換も行い、内容の濃い夜になりました。

二日目は全体会が行われ、メンタリストDaiGoさんによる基調講演がありました。講演の中でDaiGo氏は自分がいじめを受けていた経験から「周囲が変わることを期待するより、自分が変わることが解決は早い」また、「眞面目にやるというよりは、今までやつたことのないことをやるというような、クリエイティブな活動をする方が結果は良くなる」と話されていました。

目まぐるしく変化する時代の中でPTAの活動においても今までやってきたからやるというよりは、自ら考え行動し変化していくことが重要ではないかと考えることができた有意義な研究大会となりました。



# 尾道市教育フォーラム



## 尾道市 PTA 連合会 結成70周年 感謝状授与

### 尾道市 PTA 連合会 歴代会長（過去10年間）

平成21～23年度	加藤 千政
平成24～25年度	半田 真悟
平成26～27年度	山元 剛介
平成28年度	宗田 雅弘
平成29年度	木曾 奈美

### （社）日本PTA全国協議会 表彰者（過去10年間）

平成23年度	倉本 裕康
平成24年度	加藤 千政
平成25年度	岡田 広美
平成29年度	木曾 奈美



本年度、教育フォーラムのテーマを「未来の宝」～ふる里と共に～と題して開催させていただきました。

吉和中学校ブロックは、吉和小学校と吉和中学校で構成されており、とても地域性が高くチームワークのとれたコアな組織となりました。

今回の教育フォーラムは2巡目の担当ということもあり、1巡目のフォーラムを参考にして吉和らしい教育フォーラムとすることができました。なんといっても、尾道みなと祭で金賞を受賞した「ええじやんSANSAN・がり」や伝統ある「吉中太鼓」は吉和の誇りでした。

す。これからも次世代に引き継いでもつと素晴らしいものにしていきたいと考えております。また、保護者として子どもたちは地域でどのように守られ、育まれているか改めて考えることになり、本当にいい機会となつたのではないかと思います。また、吉和小学校と吉和中学校は地域における役割がとても大きいことに改めて気づくことができました。吉和の誇りである鳴滝山、吉和川、吉和漁港。この山・川・海という恵まれた自然に感謝してこれからも地域に密着した育友会活動を実践していくます。ご尽力いただきました、地域の皆さま、実行委員会の皆さま、学校教職員の皆さま、この場をお借りして感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

大会実行委員長 井上智仁



# オススメの本紹介



## 「学力の経済学」 中室牧子著

「勉強させるために、ご褒美で釣るのはあり？」  
「ゲームは子どもに悪影響？」

子育ての中で良く耳にする話です。

著者の中室さんは教育経済学という分野で活躍されている方で、そういう子育ての中でよくある疑問に対し経済学や統計学の手法を使って回答してくれています。

では具体的に「勉強させるために、ご褒美で釣るのはあり？」なのか。

著者は「あり」という結論を提示しています。  
ただし、ご褒美のあげ方に注意が必要だそうです。

A 「1時間勉強したらご褒美」

B 「テストの成績が上がったらご褒美」

さてA,Bどちらが有効なご褒美のあげ方でしょうか？この本の中ではAが有効であると結論づけています。アウトプット（結果）に対してのご褒美ではなく、インプット（過程・行動）に対してのご褒美が結果的に学力をあげる効果が高いことがアメリカでの大規模な実験で出たそうです。

その他にも「ほめ育て」の話しや「少人数学級に効果はあるのか？」など幅広く教育現場でのセオリーとされている理論について書いてあります。

今までとは少し視点を変えて子育てを考えるきっかけにするには、良い本だと思います。

本を読むのが苦手な方は「まんが版」も出ているので是非そちらを手に取ってみてください。

筆頭副会長 高橋武也

今年度も多くの方々のご協力を頂いて市PTA連活動の1年を終えることができました。本当にありがとうございました。

本年度は尾道市PTA連合会結成70年の年となり、広報部として記念誌の制作に関わさせていただきました。過去10年間の資料を整理し、事業内容などをまとめた中で、先輩方が何を考えこれらの事業を行つてきたのか、一端を知ることができた貴重な機会となりました。

さて、小学校では来年度から移行期間を終え、いよいよ「新学習指導要領」がスタートします。外国語教育、プログラミング教育など内容は多岐に渡りますが、それをどう学んでいくのかが重要になつてくると思います。「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」と3つの視点から学んでいくということですが、家庭でもこれを意識して関わつて行くことにより、子どもたちの学びの奥行きにつながるのではないか。我々が子どもたちが受けれる時代になりました。我々保護者も、共に学び、共に成長する良い機会と捉えて、新しい時代を担う子どもたちに関わつて行きたいものです。

## 70周年記念誌「あゆみ」を発行

結成70周年の節目を迎えるにあたり、記念誌の発行を決定してから、内容の検討、特別寄稿文の執筆依頼、原稿の収集等々の作業を行ってまいりました。

創立から70年の歳月を後世に継ぐ役割でもあり、プレッシャーのかかる作業もありました。

今回の記念誌作成では、65周年記念誌を参考にしながら、継続性を持たせた記念誌とし、主に60周年から10年間で開催した、第59回全日本PTA連合会ひろしま大会など、今まで以上に保護者の深い絆が生まれた事など大きな行事を中心に掲載いたしました。また、今回の記念誌ではそれぞれの学校の沿革史や学校紹介などを新たに取り入れております。

作成にあたり、多くの方から資料や写真などの提供を頂き、我々の知らないことが多々あり、とても勉強になるとともに学校運営等で参考になりました。まだまだ不十分な内容とは思いますが、この記念誌をご活用頂くとともに、今まで以上に尾道市PTA連合会についての理解を深めて頂き、今後の取組みに活かして頂ければ幸いです。

最後に記念誌の編集にあたり、本記念誌の作成に関わった全ての皆さま方に心から感謝し御礼申し上げます。



## 編集後記

